

☆ 摂食嚥下機能支援研修会を開催しました

11月14日（水曜日）と12月12日（水曜日）に、南多摩保健所では、東京都保健医療公社多摩南部地域病院の先生方を招いて摂食嚥下機能※支援研修会を開催しました。

1日目は副院長の重松恭祐先生と管理栄養士の西山孝子先生から、「地域の診療のシステムとチーム医療について」をテーマとして、病院の地域医療の理念と院内における役割・連携及び、11月12日から開始された摂食嚥下外来の受診の仕方や取組について講義をしていただき、医師・歯科医師・看護師等医療従事者52名の参加がありました。

2日目は言語聴覚士の吉澤恭代先生から、「いつまでも美味しく安全に食べ続けるために～支援に携わる人に知ってほしい事～」をテーマに講義をしていただき、介護職、医療職37名の参加がありました。嚥下造影検査※（VF）の動画を用いて摂食・嚥下の基本を説明したり、参加者に食道等の役になってもらい飲み込みの仕組を実際に確認したりするなど、大変わかりやすい内容でした。

両日とも活発な質疑応答や情報交換が行われたうえ、地域の病院から講師をお呼びしたことにより、参加者と病院との間で顔の見える関係を築くことができ、アンケートでは全員が「とても参考になった」、「参考になった」と回答されました。

当所では今後も摂食嚥下機能支援を推進するため、退院支援の際に利用する摂食嚥下の情報連携ツールを活用し、地域の食を支える医療・介護職のスキルアップと地域包括ケアの基盤整備を目指していきます。

※摂食・嚥下機能：食べ物を食べたり飲み込んだりする働き

※嚥下造影検査：造影剤または造影剤を含む食物を嚥下させて、

造影剤の動きや嚥下関連器官の状態と運動をX線透視下に観察する嚥下機能検査である。



一日目の研修の様子



二日目の研修の様子

【南多摩保健所】